

伝える

ともに
歩む

繋がる

除染への取り組み

—地域の皆さまとともに—



一般社団法人 **日本建設業連合会**

JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

私たちは、総力を挙げて除

毎日 18,000 人が従事

日建連会員会社は、平成 26 年 8 月現在、現場数 35 箇所で行なっている除染作業を進めています。総勢 18,000 人の作業員とともに総力を挙げて、避難されている住民の皆様の一日も早い帰還を支援しています。



各現場における毎日の朝礼風景

除染作業とは

生活する空間において受ける放射線の量を減らすために、放射性物質が付着した表土の削り取り、枝葉や落ち葉の除去、建物表面の洗浄等により、放射性物質を生活圏から取り除き、また、遠ざける作業を行います。国が実施する「除染特別地域」、自治体を実施する「汚染状況重点調査地域」の二つの地域で、作業が進められています。



住宅除染



住宅除染



森林除染



農地除染



農地除染



仮置き場での作業

染作業に取り組んでいます。

品質管理

除染作業前・除染中・除染後の各段階においてモニタリングを行い、効果について検証しながら作業を進めることで、高い品質を保持しています。作業指示や記録にはICT技術を駆使し、また、除染物にはQRコード付きのタグ等を取り付けることにより、一袋ごとに厳密な保管と管理を行っています。さらに、発生した汚染水の回収と処理も徹底して行っています。



モニタリングの様子



除染物の表面線量率測定の様子



空間線量測定の様子



汚染水処理施設の一例

作業員教育と健康管理

除染作業を安全・確実に進めるために、定期的に作業員全員を対象にした教育を行っています。除染作業の品質を保つための教育や、安全のポイントをまとめた資料による教育、実際の作業中にどのような危険が起きるかを全員で考える危険体験実習等を実施しています。

除染作業に従事する作業員に対しては放射線の影響を最小限にとどめるために、作業前の放射線量の把握、毎日朝晩の被ばく線量の測定と記録、ガラスバッチの5年間保管等のデータ管理を徹底し、きめ細かな健康管理を行っています。また、福島県内の現場では作業員宿舎を整備し、快適に寝泊まりできる環境を整えています。



スクリーニング実施状況



作業員教育の様子

地域のみなさんとのコミュニケーションを大切にしながら、除染作業に取り組んでいます。

伝える

情報発信

地域にお住まいの方や遠方に避難されている方に、除染の作業方法、進捗状況などを丁寧にお伝えするとともに、地域の皆様の疑問等にもお答えしています。これらの業務については、地元の方のご協力をいただき、地域に寄り添った対応ができるよう心がけています。



■インフォメーションコーナーの設置

除染の作業内容や進捗状況を広くお知らせするために、インフォメーションコーナーを設けています。



■コールセンターの開設

コールセンターを開設し、地域の皆様の心配事やご意見について、迅速に対応しています。



■かわら版・コミュニケーションシートの配布

「かわら版」や「コミュニケーションシート」を発行し、進捗状況や施工写真、作業メンバー等を紹介しています。



■現場見学会の実施

現場の作業状況を実際に見ていただくために、見学会を実施しています。現場にて具体的に説明することで、除染作業の内容について、より詳しくお伝えしています。



■地元説明会への参加と協力

具体的な除染作業を地域の皆様に直接お伝えするために、適宜地元説明会において、作業手順、場所、工程等をお知らせするほか、地域の方のご意見をいただき、疑問にお答えしています。



■HPの開設

除染対象地域の状況や除染の進捗についてご報告するHPを開設し、皆様からの不安や疑問にお答えするQ&Aコーナーも設けております。



■のぼり・看板の設置

作業地区には「除染作業中」ののぼりや看板を設置し、作業中であることをお知らせしています。

ともに歩む

地域の安全・環境への配慮

地域の皆様とともに歩むために、安全と環境に配慮し、以下の活動を進めています。

■除染八則（全作業員の心構え）

私たちは、
一、住民の皆さんの気持ちになって除染します。
二、除染作業に誇りを持って臨みます。
三、責任感を持ち誠実に行動します。
四、地域の皆さんと積極的に対話します。
五、予定工期を守ります。
六、除去集積したものを拡散させません。
七、除染の成果にこだわり続けます。
八、自分の体調管理に取組みます。

清水建設

■除染十戒

1. 水を使う時の対策はよいか
2. 川への流出および飛散防止措置はよいか
3. 同意書の確認はよいか
4. 身分証明書、ガラスパッチの携帯はよいか
5. マスク、手袋の装着はよいか
6. 予定外作業のホウレンソウは周知しているか
7. 個人情報取得はよいか
8. 壁障への搬入はよいか
9. 住民からの誤解を受ける行動はとっていないか
10. 住民に寄り添った除染を心掛けているか

前田建設工業株式会社 建設現場作業部

■心構えの共有事例

除染作業にあたる心構えを、現場で働く職員、作業員全員で共有し、地域の皆様と共に歩む姿勢を高めています。



■交通安全への協力

地域の皆様と共に、交通安全活動のお手伝いを行っています。



■地域内のパトロール

地域の皆様が安心できるように、地域内を「安全パトロール車」で巡回しています。



■腕章の着用

作業時には、除染の作業員であることがわかるよう、揃いの腕章をつけています。



■沿道の清掃

作業地区の環境に気を配り、清掃活動を定期的に行っています。



■仮置場の安全管理

仮置場では、遮へい、遮水、飛散防止に努め、立入禁止等の管理を徹底しています。

■利便施設の提供

町外に避難されている地域の皆様が一時帰宅された際に、休憩や懇談ができる場所やトイレ等の施設を提供しています。



帰宅住民用トイレ



談話室

繋がる

地域貢献

地元行事への協賛・参加・支援等を通して、地域の皆様とのつながりを深めています。



餅つき大会



フランス料理を楽しむ会



植樹祭

■地域のお祭りやイベントへの参加

餅つき大会など、地域の皆様が主催するお祭りやイベントに積極的に参加し、親睦を深めています。

■除雪等の支援活動

雪の多い地域では、地域の皆様と共に除雪等のお手伝いを行っています。



中学生からの「お礼メッセージ」



■イルミネーション

クリスマスシーズンには、現場にイルミネーションの装飾をするなど、地域の皆様楽しんでいただいています。

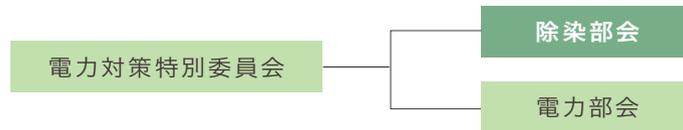
日建連の組織と活動方針

■日本建設業連合会とは

一般社団法人日本建設業連合会（日建連）は、全国的に総合建設業を営む企業及びそれらを構成員とする建設業者団体が連合し、建設業に係る諸制度をはじめ建設産業における内外にわたる基本的な諸問題の解決に取り組むとともに、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進することにより、わが国建設産業の健全な発展を図り、もって国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することを目的として活動しています。

■除染部会の活動

日建連では、東日本大震災後に「電力対策特別委員会」を設置し、その傘下の除染部会では、福島第一原発事故における放射能汚染の除染事業における課題及び対応策の検討等に取り組んでいます。



- ① 除染事業の合理的な契約、積算、住民説明等、除染事業の実施上の諸課題の検討、国等への要請・提言
- ② 除染技術の情報収集および民間企業間での除染に関する情報共有等を通じた、地域特性や汚染状況に応じた効果的な除染技術の検討
- ③ 除染作業等に従事する関係者の放射線障害防止をはじめとする、被ばく防止、汚染拡大防止等のための措置の調査・検討



除染作業や各種取り組みに対して、関係機関や地域住民から感謝状やお礼の手紙等が寄せられています。また、取り組みの詳細は新聞や地域の広報誌等にも取り上げられ、広く紹介されています。

※差出人のお名前は画像処理しております。